

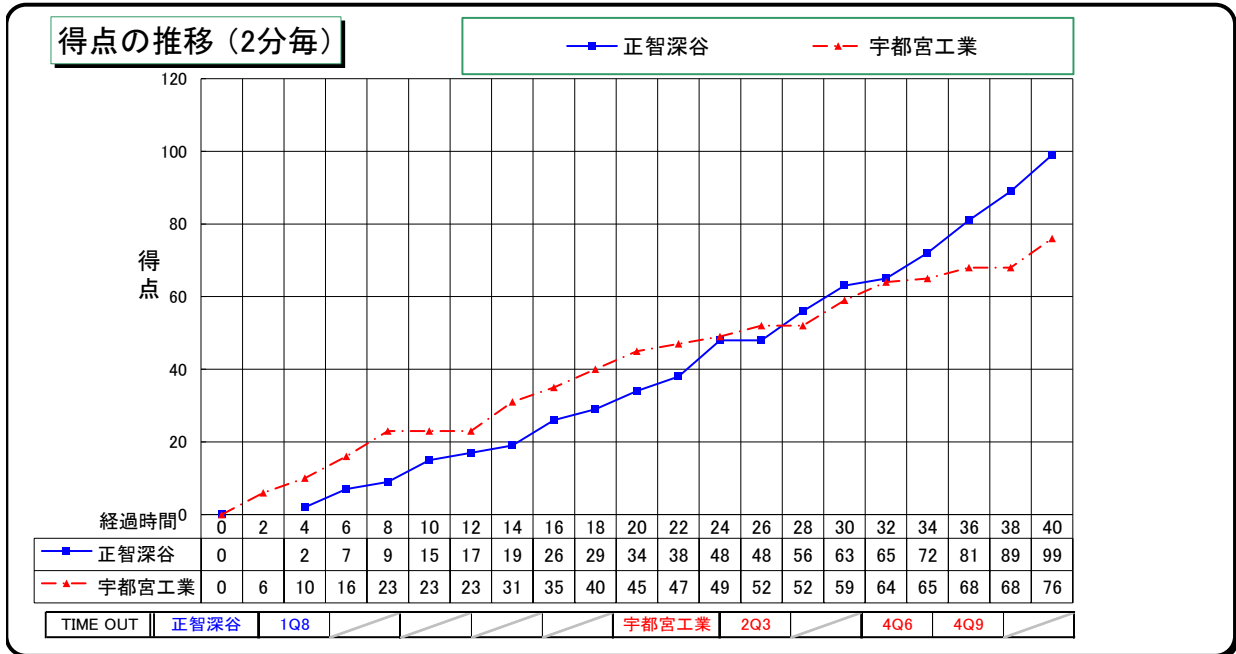
令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会  
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会  
＜Aブロック準決勝＞

令和5年6月4日(日)	アダストリアみとアリーナ	大会2日目	Cコート	第2試合 11:00～													
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>正智深谷</b> <b>埼玉</b>		<b>99</b>	<table border="0"> <tr><td>15</td><td>1Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>19</td><td>2Q</td><td>22</td></tr> <tr><td>29</td><td>3Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>36</td><td>4Q</td><td>17</td></tr> </table>	15	1Q	23	19	2Q	22	29	3Q	14	36	4Q	17	<b>76</b>	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>宇都宮工業</b> <b>栃木</b>
15	1Q	23															
19	2Q	22															
29	3Q	14															
36	4Q	17															
主審: 東 祐二(東京) 第1副審: 一色 渉(茨城) 第2副審: 秋葉 智(茨城)																	

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	三村 蓮	14	1	3	4	10	3	3	1	1	3	1
○	5	花形 大雅								1			
○	6	宿輪 章太									1		
◎	7	市川 大徳	13	3	8	2	7			3		8	4
◎	8	秋穂 将斗	13	2	8	2	4	3	3	2	3	4	1
◎	9	グビノゲン オサゼ テロウ	28		2	10	18	8	8	2	6	6	1
○	10	飯島 康介	2					2	2	1			
○	11	山田 仁弘	2			1	1						
	12	河野 奏真											
○	13	板崎 煌河											
	14	佐々木 寧											
◎	15	中武 優羽	4			2	4			4	3	5	
	16	早船 哉斗											
○	17	加藤 駿	5	1	4	1	3					6	1
○	18	岡野 一輝	18			8	13	2	2	3	5	2	
		コーチ 成田 靖											
合計			99	7	25	30	60	18	18	17	18	35	8

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	大谷 鴻太	18	4	18	2	5	2	2	4	1	2	
◎	5	佐藤 壮流	6		1	2	6	2	2	4	2	3	3
◎	6	山川 大翔	5		4	2	3	1	2	1	2	1	3
◎	7	石川 晃希	36	1	5	13	29	7	7	3		9	1
◎	8	寺内 幸成	5			2	4	1	2	3	1	1	
○	9	大里 知輝	6	2	3								
○	10	田辺 真之介											
	11	櫻井 千尋											
○	12	小平 陸斗			1								1
○	13	高野 莉玖					1			1			
	14	川邊 璃音											
○	15	石川 優斗											
	16	富田 大翔											
	17	帯屋 潤太郎											
	18	佐藤 敦											
		コーチ 高崎 徹											
合計			76	7	32	21	48	13	15	16	6	16	8

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



**戦評** 記入者: 櫻井 幸一郎

Aブロック準決勝、正智深谷対宇都宮工の対戦。  
 第1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。宇都宮工が立ち上がりから#4大谷、#7石川を中心に積極的な攻撃をみせ、残り2:23、9-23で正智深谷がタイムアウトを取る。その後は、落ち着きを取り戻し、15-23で第1Qを終えた。  
 第2Q、宇都宮工はゾーンプレスを仕掛けつつ、#6山川と#7石川の連携で得点を重ねていき、正智深谷が流れを掴めない展開が続く。しかし、#17加藤の3Pを皮切りに得点を重ねつつ、マッチアップゾーンに切り替えて食らいつき、34-45で前半を終了した。  
 第3Q、正智深谷は、宇都宮工の#7石川にプレッシャーをかけたディフェンスを行って相手のリズムを崩す。さらに、#9グビノゲンのポストプレーやドライブインが冴え渡り、流れを掴む。宇都宮工も粘りを見せて逆転を許さず緊迫した展開が続く中、正智深谷は交代で出場した#8秋穂が残り2分半で3Pを2連続で決めて逆転し、63-59で第3Qを終える。  
 第4Q、逆転して勢いに乗った正智深谷は、#7市川の3Pや#9グビノゲンのリバウンドシュートで得点を重ねる。宇都宮工も#4大谷の3Pなどで応戦するが、正智深谷もテンポ良く速攻を繰り返し、一気に宇都宮工を突き放す。最後は宇都宮工#9大里が3Pをブザービートで決めるが、99-76で試合終了。  
 宇都宮工は#4大谷、#7石川を中心に積極的に攻めたが、後半から要所を押さえた試合展開で流れを掴んだ正智深谷が勝利し、決勝戦に駒を進めた。